



# 名古屋能楽堂 能楽講座<中級>



## ～ 能・狂言が描く“愛と恋”～

今年度の名古屋能楽堂定例公演は「能・狂言が描く“愛と恋”」と題して、様々な愛のかたち、恋の姿をご紹介します。本講座では、能楽をより深く、今まで以上にお楽しみいただけるよう、「愛と恋」という人類普遍のテーマを通して能・狂言の世界をわかりやすく解説します。

	日 程	内 容	講 師
1	9月27日(火) 18:30～20:00 能楽堂会議室	【能が描く“愛と恋”～定例公演の演目を中心に】 仏教では人を恋い執着することが、悟りの妨げとなる「妄執」とされました。抑えきれず恋にとらわれる気持ちは現代の私たちにも通じる感情です。普遍のテーマを基軸に能を解説します。	橋場夕佳 (能楽研究者・ 海星高等学校非常勤講師)
2	10月6日(木) 18:30～20:00 能楽堂会議室	【狂言が描く“愛と恋”～様々な愛のかたち】 狂言の愛と恋には、様々なかたちがあります。男女の恋や愛だけではなく、時には男同士の恋愛も…。中世ならではの恋愛観をふまえ、狂言を楽しく解説します。	田崎未知 (能楽研究者・ 名古屋能楽堂イヤホンガイド)
3	10月13日(木) 18:30～20:00 能楽堂会議室	【シテ方の世界】 能の主演であるシテは、人間のみならず、神や亡霊などを始め様々な超自然的な存在を数多く演じます。定例公演の演目紹介、謡の体験なども交え、シテの世界について解説します。	久田 勘 鷗 久田 三津子 (能楽師:観世流シテ方)
4	10月20日(木) 18:30～20:00 能楽堂会議室	【狂言方の世界】 能と同時期に発生した狂言は、庶民の目線で演じられ喜劇的要素を多く含んでいます。本講座では狂言の魅力について定例公演の演目紹介をしながら、わかりやすく解説します。	佐藤友彦 (能楽師:和泉流狂言方)
5	10月27日(木) 14:30～16:00 徳川美術館	【特別講習 ～江戸時代の能楽】 江戸時代に「武家の式楽」として花開いた“能楽”。能楽と武家文化は切り離せない関係性を持っています。徳川美術館学芸員の特別解説(30分)付きで美術館を見学します。(※自由参加)	徳川美術館学芸員

◇受講料 3,100円+特別講習チケット代= 合計4,100円

※10月27日の特別講習にご参加の方は美術館入場チケット代1,000円が必要です。

※特別講習に不参加の方の受講料は3,100円です。

◇定 員 60名 ※応募者多数の場合は抽選

◇応募方法 はがき又はFAXにて①郵便番号・②住所・③氏名  
④電話番号・⑤特別講習参加の有無 をご記入のうえ  
名古屋能楽堂までお申し込みください。

◇応募期限 平成28年9月6日(火)〈当日消印有効〉

◇申込み先 〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

名古屋能楽堂 能楽講座<中級>係

TEL: 052-231-0088

FAX: 052-231-8756

◇主 催 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

【個人情報の保護について】

お預かりしました個人情報は、ご本人への本事業に関するご連絡及び公益財団法人名古屋市文化振興事業団(当施設以外の管理運営施設を含む)が実施する文化事業のご案内に

使用させていただきます。また、施設利用及び当事業団が広報協力する事業のご案内をお送りすることがあります。

このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



能「鉄輪」撮影:三上文規